



特集

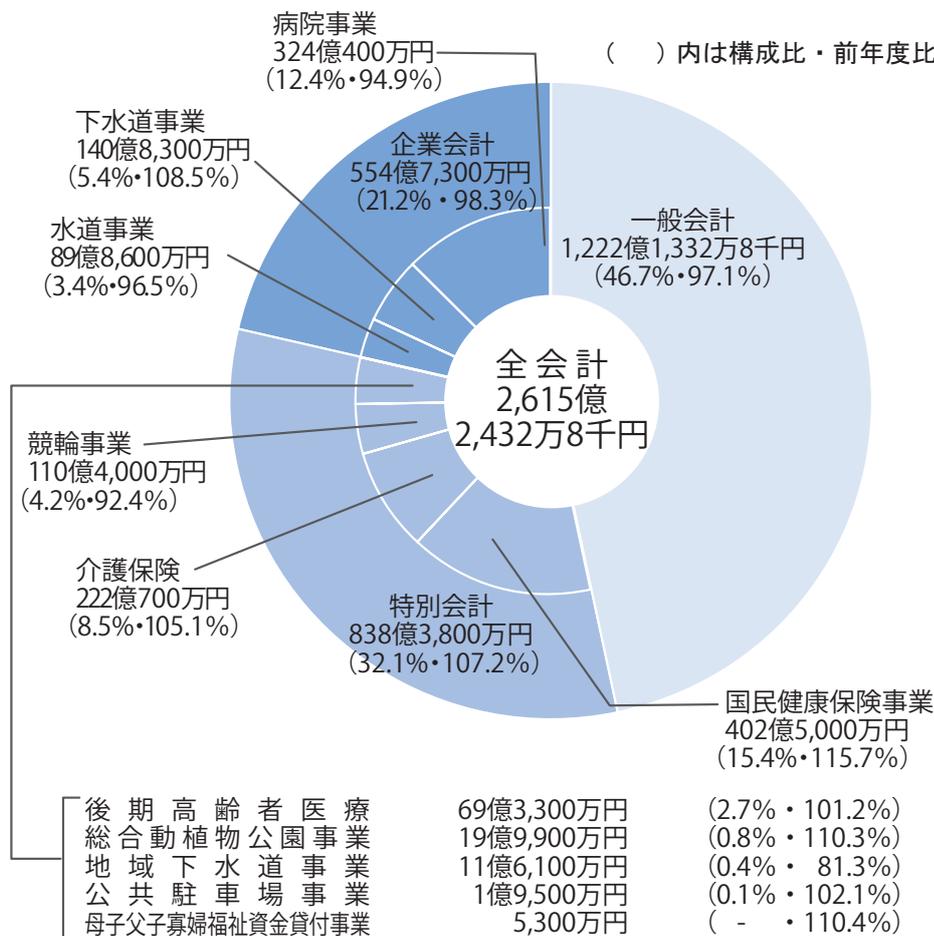
こどもの未来とまちの元気をつくる、 とよはし創生予算 平成27年度予算紹介

問い合わせ：財政課（☎ 51・2117 ☒ <http://www.city.toyohashi.lg.jp/8815.htm>）

平成27年度予算規模 2,615億2,432万8千円(前年度比0.4%増)

●各会計の予算規模●

一般会計	1,222億1,332万8千円	(前年度比2.9%減)
特別会計	838億3,800万円	(前年度比7.2%増)
企業会計	554億7,300万円	(前年度比1.7%減)



※平成27年度予算規模は、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に関連する平成26年度補正予算を含みます

「地方創生」をキーワードにまちの元気をつくります
平成27年度予算は、第5次総合計画の着実な推進を図り、将来に向けた持続可能な地域づくりを進めるため、安全・安心な暮らしを実現するとともに、まちの活力を高める施策を盛り込み、「こどもの未来とまちの元気をつくる、とよはし創生予算」として編成しました。



感情認識パーソナルロボット「pepper」



マンダリル



ゴーカート



香港の食品見本市 Food Expo のようす



ウォーキングイベント
地球周回チャレンジのようす



ニホンザル



コツメカワウソ



東三河広域連合の発足

のんほいパークの魅力向上

活力と魅力にあふれる 活まちづくり

シティブロモーション活動の展開

豊橋の魅力などを積極的にPRし、知名度やイメージの向上を図ります。

- ・首都圏でのプロモーションビデオを活用したPR
- ・東京オリンピック・パラリンピック関連事業の検討
- ・「私の好きな豊橋」をテーマにした写真などの募集
- ・ええじゃないか豊橋推進計画の改定

東三河広域連合の事業開始

共同処理事務、広域連携事業、権限移譲事務を3つの柱として東三河の地域づくりを進めます。

次世代型大規模施設園芸拠点の整備

高品質・高収量栽培実証や地域資源の有効活用実証に取り組むため、大規模施設園芸拠点を整備します。

畜産物生産販売力の強化

豊橋産畜産物の生産・流通などの現状把握とTPP交渉の動向を踏まえた畜産業への影響分析を行い、新たな施策の方向性を明らかにします。

農産物周年出荷への取り組み

ミニトマトの周年出荷を目指し、周辺市町村と連携しながら栽培モデルを検討します。

農産物などの海外販路開拓

豊橋産の農産物および加工食品を香港・シンガポール・タイの見本市や販売店でPRし、産地の魅力を伝えるとともに、植物工場の海外輸出などについて

可能性調査を実施します。

ものづくりに挑戦する事業者の活動支援

3Dプリンタなどデジタル工作機械や感情認識パー

ソナルロボットを揃えた交流型研究開発スペースを設置し、異業種間の技術交流による新たなものづくりに挑戦できる環境を整備します。

のんほいパークの魅力向上

獣舎などの整備を進めるとともに、ゴーカート拡張整備や、のんほい鉄道整備に向けた基本計画を策定し、更なる魅力向上を図ります。

健やかに暮らせる 健まちづくり

子ども・子育て支援新制度、子ども・子育て応援プランの推進

新制度の開始に合わせて、子ども・子育てに関する支援を充実します。

- ・ つどいの広場や一時保育指定園を増設
- ・ 放課後児童クラブを増設

- ・ 幼稚園・保育園の良さをあわせ持つ「認定こども園」の普及

- ・ 幼児期の教育・保育を保障するため入所定員を確保

公立保育所の整備

老朽化の著しい「こじか保育園」を改築し、将来を担う子どもたちの健全な育成を促進します。

生活困窮者の自立支援

生活困窮の方の自立を促すため、抱えている問題を早期に解決できるよう相談支援などを行います。

健康なまちづくりの推進

「歩く(運動)」をキーワードに、とよはし健康マイレージ事業や健康シンポジウムの開催など、糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防に努めます。



くすのき特別支援学校



大清水まなび交流館「ミナクル」



小中一貫教育の推進



商家「駒屋」



地域リハビリテーション活動支援事業



中学校音楽教師による小学生への授業

予防接種事業の充実

国に先行して、B型肝炎の予防接種費の一部助成を、平成27年4月から開始します。

高齢者の介護予防活動への取り組み

リハビリテーション専門職が、デイサービスや老人クラブなどの地域活動に対し、運動機能向上の方法を助言するなど、自立を促す取り組みを支援します。

放射線治療施設などの整備

地域がん診療連携拠点病院として、放射線治療体制の充実・強化を図るため、放射線治療施設を整備します。

心豊かな人を育てる まちづくり

文化活動支援事業の充実

穂の国とよはし芸術劇場の公演の充実や、小・中学校と特別支援学校を対象とした鑑賞事業など、文化活動支援事業の充実を図ります。

文化芸術体験の推進

本物の鑑賞体験や芸術家との交流を通して、文化芸術への興味・関心を高め、将来にわたって文化芸術に親しむ子どもを育てます。

小中一貫教育の推進

子どもの豊かな人間性と確かな学力の育成をめざして、義務教育9年間を見通した教育課程や教科力リキラムを編成し、小・中学校の円滑な接続を図ります。

くすのき特別支援学校の開校

東三河地域の知的障害のある児童・生徒に対し、豊川特別支援学校と一体となって、きめ細やかな特別支援教育を実施します。

自然史博物館の充実

名古屋芸術大学と連携した事業の展開や、平成28年度のオープンを目指して新生代展示室の全面改装を行い、魅力の向上に努めます。

大清水まなび交流館「ミナクル」の開館

南稜地区市民館、大清水図書館、大清水窓口センターが一体となった複合施設、大清水まなび交流館「ミナクル」が平成27年4月に開館します。

商家「駒屋」の公開

江戸時代に建築された商家の遺構である「駒屋」の復原工事が完了し、東海道三川宿の文化・歴史を学べる施設として、平成27年11月に公開します。

陸上競技場の整備

陸上競技場のスタンドを、バリアフリー化した障害者観覧室や屋内走路を備えた屋根付きスタンドに整備し、利便性を向上させるための実施設計を行います。

環境を大切にする まちづくり

家庭での節電・省エネの推進

ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)、リチウムイオン蓄電池、ペレットストーブの導入費用の一部を助成します。

再生可能エネルギー活用の推進

地域における再生可能エネルギーの活用の一環として、市の遊休地に太陽光発電システムを設置し、売電収入を活用した事業の展開を図ります。

自然環境保全の推進

将来にわたり多様な生態系を確保するため、汐川干潟の保全実践活動、アカウミガメの保護対策、特定外来生物の駆除を実施します。



整備した自転車通行空間



校区での避難所設置訓練のようす



アカウミガメと表浜海岸

再生可能エネルギー活用推進事業

バイオマス資源利活用施設
完成イメージ

指定ごみ袋制度の導入

ごみの分別の促進やごみ出しルールの徹底を図るため、家庭ごみの一部にごみ出し袋の規格（大きさ、色、形など）を指定した「指定ごみ袋制度」を導入します。

安 ま ち づ く り し て 暮 ら せ る

地域防災力の強化

校区単位で行われる自主的かつ実践的な校区防災訓練などに要する経費の一部を助成します。

避難誘導標識などの整備

既設避難誘導標識の老朽化に伴う点検の実施や、津波から避難するための誘導標識を表浜海岸に設置し、市民や観光客の円滑な避難誘導を図ります。

緊急情報などの伝達強化

表浜海岸に同報系防災無線の子局を2局設置するとともに、集客のある公共施設には同報系防災無線の戸別受信機を設置し、緊急情報などを迅速に伝達します。

災害時の飲料水などの確保

大規模地震発生時、水道水の供給が停止した場合に安全な水を確保するため、飲料水兼用耐震性貯水槽の整備を進めます。

災害廃棄物処理計画の策定

災害時に発生する災害廃棄物を適正かつ迅速に処理するため、災害廃棄物の処理方法などを取りまとめた計画を策定します。

災害時活動拠点の強化

被災直後に必要な燃料を確保するため、中消防署の自家用給油取扱所の地下燃料タンクを増強し、災害対応力の強化を図ります。

消防団の活動用資機材の充実

地域防災の要である消防団の活動用資機材を充実し、地域の防災体制の強化を図ります。

快 適 で 利 便 性 の 高 い ま ち づ く り

道路などの液状化対策

緊急輸送道路に指定されている市道上の橋梁に段差抑制工事を実施し、地震発生時にも緊急物資の搬送と市民病院へのアクセスを確保します。

自転車通行空間の整備

平成26年度に策定した整備計画に基づき、札木通りなどで自転車通行空間を整備します。

「道の駅」の整備

名豊道路七根IC周辺に、地元農産物や広域観光情報を提供し、防災拠点機能をあわせ持つ「道の駅」を整備するための基本計画を策定します。

空家対策の推進

市内の空家の実態と所有者の意向を調査し、データベースの整備を行うとともに、空家バンク制度や空家改修費補助制度を創設し、利活用を促します。

中心市街地再開発の推進

まちなか図書館（仮称）、まちなか広場（仮称）をはじめ、商業・サービス業、住宅などからなる新たな魅力拠点を整備する駅前大通二丁目地区の再開発事業を推進します。

バイオマス資源利活用施設の建設

PFI手法により、中島処理場において下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥および生ごみのエネルギー利用を図るため、国内最大規模のバイオガス化施設の建設に着手します。